

平成27年度

年間指導計画

荻窪小学校・久我山小学校 第2学年

荻窪小学校の目指す児童像

「自分や友達のよさに気付き、仲良く取り組む子」

久我山小学校の目指す児童像

「自分や友達のよさに気付き、意欲をもって活動する子」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級經營	「自尊感情測定尺度」(1回目)で学級の児童の実態を把握する。 保護者会で子どもの実態を知らせる。 児童相互の関係を把握する。	自分のよさや友達のよさの発見に着目した指導を実施する。	個人面談で子どもについて共通理解を図る。	2学期の指導の方向性を検討する。	学級活動にエンカウンターの手法を用いた授業を行い、自尊感情の高まりを深める。	「自尊感情測定尺度」(2回目)で学級の児童の実態を把握する。	学級活動にエンカウンターの手法を用いた授業を行い、自尊感情の高まりを深める。	「自尊感情測定尺度」(3回目)で学級の児童の実態を把握する。	自分らしさを受け止め、進級への意欲を高めさせる。	この1年間での自分や他者のよさの、伸びや高まりを実感できる指導を実施する。	「自尊感情測定尺度」(4回目)で学級の児童の実態を把握する。	
各教科	算数 ブロックや図で、友達に分かりやすく伝えるようにする。 生活「学校探検」 学校の施設について調べ、1年生に分かりやすく案内することで、自分の成長に気付かせる。	体育 準備や片づけを友達と一緒に行わせる。 生活「はっけんくふう おもちゃ作り」 自分たちで作った手作りおもちゃを園児に紹介し、一緒に遊ぶことで、自分の成長に気付かせる。	体育 勝敗を認め合えるようにする。	生活「わたしの町 はっけん」 お店について調べ、1年生に発表し、発表への自信や成就感をもたせる。地域の様々な人と関わり合って生活していくことに気付かせる。	図工 自分たちの作品を楽しく見るようにする。 生活「伝承あそびをしよう」 伝承遊びのコツを1年生に教えることで、自分の成長に気付かせる。	音楽 友達の歌声や楽器の音を聴いて、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする。	生活「おいたち」 小さいころからの成長を振り返り、自身の成長とともに、まわりの人々との関わりの中で成長していることに気付かせる。	国語「すすんで考え方を出し合おう」話しあいの仕方に気を付けて、グループで話し合い、考え方を伝える言葉の働きに気付かせる。	国語「できごとや気もんがつたわるよう書こう」2年生の思い出を振り返り、文章を書かせる。友達が書いたものを読んで感想を伝え合わせる。			
学習内容	道徳 礼儀 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する態度を育てる。 親切 幼い人や高齢者など、身近にいる人々に温かい心で接し、親切にする心情を育てる。	国語「おはなしを音読しよう」 友達と役割分担をして、音読や役割演技を楽しませる。 国語「今週のニュース」「かんさつ名人になろう」 友達の見付けたこと、発見したことなどを通じて、今後のコミュニケーションに生かしていく。	国語「うれしいことば」 自分が言われた「うれしい言葉」を考えることを通じて、声の出し方や動きを工夫させていく。	友情 友達と仲よくし、助け合う心情を育てる。	尊敬・感謝 日ごろお世話になっている人々に感謝する心情を育てる。	規範尊重・公徳心 約束やマナーを守り、みんなが使う物を大切にする心情を育てる。	生命尊重 生きることを喜び、生命を大切にする心情を育てる。	愛校心 先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする心情を育てる。				
特別活動	学級活動 学級目標、係、当番活動について話し合わせる。 運動会 表現や団体競技の練習を通して、努力を認める大切さに気付かせる。また、互いのよさを認め合えるようにする。 1年生を迎える会 入学を喜ぶとともに、下級生に優しく接しようとする態度を育てる。 1年生との学校探検 下級生に優しく接しようとする態度を育てる。 5年生との合同スポーツテスト	さくら草まつり 自分たちの店を、協力し合って運営させる。来店する人に丁寧に対応させる。コミュニケーションの力を図る。 久我山まつり 異学年との交流を通して久我山小の一員であることを自覚すると共に中高学年への憧れを抱かせる。	『通年』絵手紙活動 絵手紙での交流を通して、自分の行動が人の役に立っていることに気付かせる。 『通年』縫割り班活動 異学年交流を深め、思いやりの心を育てる。 『通年』構成的グループエンカウンター エクササイズを通して、友達の考え方のよさや違いを知る。	運動会 表現や団体競技を通して、互いのよさを認め合ってくれる人の存在に気付かせる。 学芸会 練習を通して協力し合いのよさを認め合ってくれる人の存在に気付かせる。	学習発表会 自分が取り組んだ作品を発表させる。鑑賞を通して、友達の作品のよさを見付けさせる。	地域清掃、ユニセフ募金 世界や地域などに目を向けて貢献意欲を高める。	人権カレンダー 友達の存在の大切さや、多くの人が関わり生活していることに気付かせる。	6年生を送る会 上級生の支えに気付かせる。				
指導方法	発表の工夫 考え方をかく児童と、別の児童が発表することで友達の考え方を理解しようとする態度を育てる。	学習態勢の工夫 グループ学習をすることで、助け合ったり協力したりすることで、友達が支えてくれていることや友達の力になれるということに気付くことができるようになる。	自分の立場を明確にする工夫 「分からぬ」「できない」ということが言える雰囲気を作り、できることからやつてみようという気持ちと成功体験を積み重ねられるようになる。	教え合いの工夫 ミニ先生として苦手な児童にアドバイスする。理解者の存在に気付いたり、貢献意欲を高めることができるようにする。	既習事項を生かして課題を解決する 学習のつながりを意識することで、「できるようになった。」「一人でできた。」という自分の努力を評価する。							
教室環境 言葉掛け	教室整備 余計なものを置かない。整理整頓をする。	認め合う場 帰りの会で日直が発表する「ほかほかタイム」を設け、認めれる言葉掛けをする。	既習事項の掲示 単元の学習内容が見えることで安心して取り組める環境を作る。	言葉掛けの工夫 「～はだめ」×「～しよう」○ プラスの言葉掛けを意識する。	褒め方の工夫 場:個別、全体 伝え方:さらっと、じっくり 児童の実態に合わせ、場や伝え方を工夫する。	ノートの掲示 きれいにまとまっているノートや友達の良さを見付けているノートを掲示する。						

荻窪小学校での取り組み

久我山小学校での取り組み

荻窪小学校・久我山小学校共通の取り組み